

# 日高の交通安全（平成19年日高支庁管内交通事故概況）

## 交通事故の概要

平成19年の管内の交通事故発生状況は、発生件数・傷者数は前年より減少、死者数は前年より増加となりました。

発生件数：175件で前年より50件減少し、7年連続の減少、昭和41年以降で最も少ない記録となりました。

死者数：12人で前年より2人増加となりました。

傷者数：254人で前年より62人減少し、2年連続の減少、昭和41年以降で最も少ない記録となりました。

## 交通死亡事故の主な特徴

### 1月・3月・5月・11月が多い

1月、3月、5月と11月が同数の2人（16.7%）で最も多くなっています。

### 12～14時が多い

12～14時が4人（33.3%）で最も多く、次いで2～4時と4～6時が同数の2人（16.7%）となっています。

### 土曜日が多い

土曜日が3人（25.0%）で最も多く、次いで月曜日、火曜日、木曜日と金曜日が同数の2人（16.7%）となっています。

### ハンドル操作不適が多い

ハンドル操作不適が5人（41.7%）で最も多く、次いで通行区分が3人（25.0%）となっています。

### 25歳未満による死亡事故が多い

第一当事者（1）の年齢層別では、25歳未満が5人（41.7%）で最も多く、次いで30歳代、50歳代と65歳以上が同数の2人（16.7%）となっています。

### 正面衝突が多い

正面衝突が6人（50.0%）で最も多く、次いで車両単独が3人（25.0%）となっています。

### 国道が多い

国道が7人（58.3%）で最も多く、次いで道道が4人（33.3%）となっています。

### 非市街地直線が多い

非市街地直線が6人（50.0%）で最も多く、次いで非市街地カーブが4人（33.3%）となっています。

### 65歳以上が多い

65歳以上が5人（41.7%）で最も多く、次いで25歳未満が4人（33.3%）となっています。

### 四輪乗車中が多い

四輪乗車中の死者は9人で、全体の75.0%を占めています。

## 用語解説（1）

第一当事者とは、過失がより重い、又は過失が同程度の場合にあっては、被害がより小さい方の当事者をいいます。

## 交通事故発生状況

### 1 年別発生状況

管内の交通事故発生状況を年別に見ると、発生件数・傷者数は前年より減少、死者数は前年より増加となりました。

発生件数：175件で前年より50件減少し、7年連続の減少、昭和41年以降で最も少ない記録となりました。

死者数：12人で前年より2人増加となりました。

傷者数：254人で前年より62人減少し、2年連続の減少、昭和41年以降で最も少ない記録となりました。

区分	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	増減数
発生件数	312	304	343	305	275	270	252	241	225	175	50
死者数	21	19	16	19	19	9	14	13	10	12	2
傷者数	435	449	518	429	380	412	346	350	316	254	62

### 2 町別発生状況

管内の交通事故発生状況を町別に見ると、浦河町で発生件数・死者数・傷者数ともに前年より減少となりました。

発生件数：日高町（20件）・平取町（10件）・新ひだか町（17件）・浦河町（6件）・様似町（2件）で前年より減少となりました。

死者数：浦河町（1人）・えりも町（1人）で前年より減少となりました。

また、浦河町・様似町・えりも町では、死者数が0人となりました。

傷者数：日高町（28人）・平取町（13人）・新ひだか町（24人）・浦河町（1人）・様似町（3人）で前年より減少となりました。

区分	日高町	平取町	新冠町	新ひだか町	浦河町	様似町	えりも町	管内計	
19年	発生件数	51	11	17	52	26	9	9	175
	死者数	8	1	1	2	0	0	0	12
	傷者数	79	19	28	69	36	11	12	254
18年	発生件数	71	21	13	69	32	11	8	225
	死者数	6	0	1	1	1	0	1	10
	傷者数	107	32	22	93	37	14	11	316
増減数	発生件数	20	10	4	17	6	2	1	50
	死者数	2	1	0	1	1	0	1	2
	傷者数	28	13	6	24	1	3	1	62

### 3 月別発生状況

管内の交通事故発生状況を月別に見ると、発生件数では11月が、傷者数では6月が、死者数では1月、3月、5月と11月が最も多くなっています。

発生件数：11月が21件（12.0%）で最も多く、次いで7月が20件（11.4%）となっています。

死者数：1月、3月、5月と11月が同数の2人（16.7%）で最も多くなっています。

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
発生件数	10	13	14	10	10	19	20	16	15	13	21	14	175
死者数	2	1	2	0	2	0	0	1	1	1	2	0	12
傷者数	15	14	16	14	18	34	29	17	22	22	33	20	254

#### 4 時間別発生状況

管内の交通事故発生状況を時間別に見ると、発生件数では10～12時が、傷者数では14～16時が、死者数では12～14時が最も多くなっています。

発生件数：10～12時が27件（15.4％）で最も多く、次いで12～14時が26件（14.9％）、14～16時が25件（14.3％）となっています。

死者数：12～14時が4人（33.3％）で最も多く、次いで2～4時と4～6時が同数の2人（16.7％）となっています。

区分	0～ 2時	2～ 4時	4～ 6時	6～ 8時	8～ 10時	10～ 12時	12～ 14時	14～ 16時	16～ 18時	18～ 20時	20～ 22時	22～ 24時	合計
発生件数	1	3	5	14	18	27	26	25	24	18	5	9	175
死者数	1	2	2	0	0	0	4	1	1	0	0	1	12
傷者数	1	3	6	18	19	38	40	51	30	23	7	18	254

#### 5 曜日別発生状況

管内の交通事故発生状況を曜日別に見ると、発生件数・傷者数では木曜日が、死者数では土曜日が最も多くなっています。

発生件数：木曜日が32件（18.3％）で最も多く、次いで月曜日が31件（17.7％）となっています。

死者数：土曜日が3人（25.0％）で最も多く、次いで月曜日、火曜日、木曜日と金曜日が同数の2人（16.7％）となっています。

区分	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	日曜	合計
発生件数	31	24	23	32	18	22	25	175
死者数	2	2	0	2	2	3	1	12
傷者数	47	29	27	49	30	28	44	254

#### 6 第一当事者の法令違反別発生状況

管内の交通事故発生状況を第一当事者の法令違反別に見ると、発生件数・傷者数では前方不注意が、死者数ではハンドル操作不適が最も多くなっています。

発生件数：前方不注意が51件（29.1％）で最も多く、次いで前左右不確認が23件（13.1％）となっています。

死者数：ハンドル操作不適が5人（41.7％）で最も多く、次いで通行区分が3人（25.0％）となっています。

区分	酒酔い	通行区分	歩行者 妨害	最高速度	信号無視	一時 不停止
発生件数	0	9	3	1	7	4
死者数	0	3	0	1	0	0
傷者数	0	19	4	0	10	11

区分	安全運転義務違反									その他 の違反 ・不明	合計
	前方 不注意	動 静 不注視	前左右 不確認	ハンドル 操 作	ブレーキ 操 作	安全速度	後 方 不確認	その他	小 計		
発生件数	51	19	23	12	11	6	11	4	137	14	175
死者数	2	0	1	5	0	0	0	0	8	0	12
傷者数	71	28	26	19	14	8	13	7	186	24	254

## 7 第一当事者の年齢層別発生状況

管内の交通事故発生状況を第一当事者の年齢層別に見ると、発生件数・死者数・傷者数ともに25歳未満が最も多くなっています。

発生件数：25歳未満が39件（22.3%）で最も多く、次いで65歳以上が32件（18.3%）となっています。

死者数：25歳未満が5人（41.7%）で最も多く、次いで30歳代、50歳代と65歳以上が同数の2人（16.7%）となっています。

区分	ドライバー								その他	合計
	25歳未満	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65歳以上	小計		
発生件数	39	13	31	27	23	9	32	174	1	175
死者数	5	0	2	1	2	0	2	12	0	12
傷者数	58	20	40	43	29	13	50	253	1	254

## 8 事故類型別発生状況

管内の交通事故発生状況を事故類型別に見ると、発生件数・傷者数では追突が、死者数では正面衝突が最も多くなっています。

発生件数：追突が63件（36.0%）で最も多く、次いで正面衝突が23件（13.1%）となっています。

死者数：正面衝突が6人（50.0%）で最も多く、次いで車両単独が3人（25.0%）となっています。

区分	人対車両	自転車対車両	車両相互					車両単独	合計
			正面衝突	追突	出会い頭	右折時	その他		
発生件数	14	11	23	63	19	11	16	18	175
死者数	2	0	6	1	0	0	0	3	12
傷者数	15	11	44	94	34	12	25	19	254

## 9 道路別発生状況

管内の交通事故発生状況を道路別に見ると、発生件数・死者数・傷者数ともに国道が最も多くなっています。

発生件数：国道が107件（61.1%）で最も多く、次いで町道が46件（26.3%）、道道が16件（9.1%）となっています。

死者数：国道が7人（58.3%）で最も多く、次いで道道が4人（33.3%）となっています。

区分	国道	道道	町道	その他	合計
発生件数	107	16	46	6	175
死者数	7	4	1	0	12
傷者数	168	22	56	8	254

## 10 地形別発生状況

管内の交通事故発生状況を地形別に見ると、発生件数・傷者数では市街地交差点が、死者数では非市街地直線が最も多くなっています。

発生件数：市街地交差点が75件（42.9%）で最も多く、次いで市街地直線と非市街地直線が同数の30件（17.1%）となっています。

死者数：非市街地直線が6人（50.0%）で最も多く、次いで非市街地カーブが4人（33.3%）となっています。

区分	市街地				非市街地				合計
	交差点	トンネル	カーブ	直線	交差点	トンネル	カーブ	直線	
発生件数	75	0	7	30	11	2	20	30	175
死者数	1	0	0	1	0	0	4	6	12
傷者数	102	0	10	35	15	7	44	41	254

## 11 年齢層別状態別死者数

管内の交通事故死者数を年齢層別状態別に見ると、65歳以上が5人（41.7%）で最も多く、次いで25歳未満が4人（33.3%）となっています。

また、四輪乗車中の死者は9人で、全体の75.0%を占めています。

区分	25歳未満	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65歳以上	合計
四輪乗車中	4	0	2	0	1	0	2	9
二輪乗車中	0	0	0	0	0	0	1	1
特殊車乗車中	0	0	0	0	0	0	0	0
自転車乗車中	0	0	0	0	0	0	0	0
歩行中	0	0	0	0	0	0	2	2
合計	4	0	2	0	1	0	5	12